

## 生活集会「学校生活をよりよくするために～校則について考える～」より

6月30日(水)の7限に、生活集会が行われました。今年度は、自分たちの学校生活をよりよくするために、生徒手帳に記載されている「スマホ」「服装」「登下校」の3つのきまりについて、1～6年生による縦割りのグループで話し合いました。

話し合いでは、「その校則を、私たちは実際に守れているだろうか」「その校則は、今の私たちの実態にあっているだろうか」など『生徒からの視点』だけでなく、「その校則があるのはなぜか」

「どのような経緯でつくられたのだろうか」など、『大人の視点』や『世の中の視点』など、さまざまな角度から考えました。



1～6年生による縦割りのグループで、「スマホ」「服装」「登下校」の3つのきまりについて、全校生徒で話し合いました。

自分たちからの視点だけでなく、きまりが作られた経緯や、世の中から見るとどうなのかなどをふまえ、考えました。

### ～各グループの話し合いから聞こえてきた声～

「制服ができた経緯はなんだろう？」  
「統一感や、みんなで差が出ないようにできたんじゃない？」  
「制服だと、周りから見て、『きちりしている』と思われる。」  
「海外の学校はみんな私服。日本の学校はほとんど制服。制服じゃないと、学校のイメージが落ちるのでは？」 . . . . .

「前期生と後期生できまりに違いがあるのはなぜ？」  
「前期生は精神的に未熟だから？」  
「じゃあ、後期生は大丈夫なの？」  
「前期生は中学生、後期生は高校生。」  
「中学生は義務教育で、責任は親や学校にあるから？高校生は、より自分で責任を持たなければならないから？」 . . . . .

今後、話し合いの内容を生活規律委員でまとめていきます。その上で、生徒や教職員に加え、保護者などの意見をいただきながら、校則の見直しの必要があるかないかも含め、さらに考えていきます。